

会 議 名	令和2年度 第2回 匝瑳市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和2年7月20日（月） 14:30～16:06
場 所	市民ふれあいセンター 2階会議室
出 席 者	<p>【委員】 (出席：20名) 宇井会長、藤井副会長、林委員、畔蒜委員、大木(恒)委員、河合委員、今井委員、加藤委員、笹本委員、田邊委員、成田委員、土屋委員、小川委員、及川委員、石和田委員、斯波委員、渡邊委員（代理出席：米本）、伊藤委員、山本委員、大木(良)委員</p> <p>(欠席：2名) 崎山委員、宮田委員</p> <p>【オブザーバー】 関東運輸局交通政策部交通企画課 中野</p> <p>【事務局】 匝瑳市環境生活課市民協働班 鎌形環境生活課長、奥田副主幹、小林主査 ランドブレイン株式会社 瀬戸チーム長補佐、井口研究員</p>
会 議 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 委員の自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)匝瑳市地域公共交通活性化協議会について (2)市内循環バス及び地域交通利用料助成制度の現状について (3)匝瑳市地域公共交通網形成計画策定業務委託について (4)その他 6 閉会
会 議 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 匝瑳市地域公共交通活性化協議会委員名簿 2 匝瑳市地域公共交通活性化協議会設立の経緯について 3 地域公共交通活性化協議会とは 4 地域公共交通網形成計画の策定について 5 市内循環バスの現状について 6 令和元年度地域交通利用料助成事業実績報告書 7 匝瑳市地域公共交通網形成計画策定業務委託について

会議結果概要

(1) 匝瑳市地域公共交通活性化協議会について

資料 2・3・4 について事務局より説明後、質疑応答

会 委	長 員	<ul style="list-style-type: none">・ただいまの事務局の説明を聞いて、ご意見・ご質問等ありますか。・資料 2 の課題について考え方を教えてください。資料 5 を見まして、市内循環バスの利用者減少は分かりますが、運行業務委託料の増加については、運行経費はそれほど変わってないので、委託料の増加が課題というよりも、利用者の減少に伴い、市の財政負担が増えているのだと思います。・またバス車両の更新は、安全な運行をするうえで一定の期間ごとに必要な経費となるため、内容によっては課題になるのか不明です。・市内循環バスと地域交通利用料助成制度の現状から課題を出すと思うが、市内循環バス利用者減少の背景として、人口減少や少子高齢化の進展等も課題として挙げられると思います。
事 務 局	員	<ul style="list-style-type: none">・おっしゃる通り、利用者の減少が第一の課題です。・バス車両の更新についても地域公共交通の課題というよりは、市の財政負担について触れている部分となっています。
委 員	員	<ul style="list-style-type: none">・匝瑳市において、交通と密接に絡む課題として、少子高齢化や学校の統廃合等も考慮してほしい。意見として捉えていただきたい。
事 務 局	員	<ul style="list-style-type: none">・貴重なご意見ありがとうございます。
会 委	長 員	<ul style="list-style-type: none">・その他、ご意見ご質問等ありますか。・資料 2 の意見の中に電車との接続改善とありますが、電車の本数とバスの本数はそれぞれ異なっているため、お客様の声に 100%お答えすることはできませんが、できるだけ乗継利便性が向上するように J R としても協力できればと思っています。
会 委	長 員	<ul style="list-style-type: none">・その他、ご意見ご質問等ありますか。・課題で、運行経費はそれほど変わらないとのことだが、コミュニティバスについては、非正規雇用労働者によって運行しており、非正規雇用労働者の最低賃金が毎年増加しているため、運行経費が増加しないと整合が取れないのではないかと思います。・また、バス車両の更新については、最新のバス車両としてノンステップバスがあり、安全面でかなりの対策を講じています。そのため、事故の多い現状を踏まえ安全対策をしている車両に更新していただけると、運転手としても助かるかと思っています。そのため、更新については、このような点も考慮して市としても協議していただきたい。
事 務 局	員	<ul style="list-style-type: none">・人件費の増加については、千葉交通(株)と J R バス関東(株)から伺っています。バス車両の対応についても協議会の中で話し合い、対応策について検討していければと思います。
会 委	長	<ul style="list-style-type: none">・その他、ご意見ご質問等ないため、議事(2)に移ります。

(2) 市内循環バス及び地域交通利用料助成制度の現状について

資料5・6について事務局より説明後、質疑応答

会 委 員	長	<ul style="list-style-type: none">・ただいまの事務局の説明を聞いて、ご意見・ご質問等ありますか。・資料5のP7の循環ごとの年間利用者数の推移について、椿海循環のみ増加とのことだが、その要因について把握していれば教えていただけませんか。
事 務 局	局長	<ul style="list-style-type: none">・要因として、旭市に隣接している地区であり、東総高校（旭市）への通学の足として活用されていることと、市内の中でも比較的人口が増加している地区であることが要因として考えられます。
会 委 員	長	<ul style="list-style-type: none">・その他、ご意見ご質問等ありますか。・資料5のP6の市内循環バス利用者実績については、10年間のデータが示されていますが、P7のデータについても同じように10年間のデータで示すことはできないでしょうか。
事 務 局	局長	<ul style="list-style-type: none">・毎日運行から平日運行に変更等、過去の大きな改正（様々な施策を講じたことで）の前後で利用状況がどう変わったのかを示せるとよいのではないかと思います。事務局でデータを持っていますか。また、持っていれば今後整理するのか調査するのか教えていただきたいと思います。
会 委 員	長	<ul style="list-style-type: none">・路線別の利用者数のデータは把握していますが、改正後のフォローアップ調査の状況については確認いたします。路線再編では、地区を組み替えている点もあるため、事務局の推察では若干乗りにくくなっているのではないかと考えています。
副 会 長	長	<ul style="list-style-type: none">・確認できるデータで整理していただき、次回の協議会で提示していただきたいと思います。・その他、ご意見ご質問等ありますか。・匝瑳市の動きとして、利用者数の推移で判断することもあるかと思うが、もう少しルートごとの収支率を明確に示してはいかがでしょうか。おそらく全体では10%程度であり、路線別にみれば野田・栄循環で14~15%、それ以外の路線では10%未満ではないかと思われます。そうしたときに他の自治体の例を踏まえると、行政負担がなければ、野田・栄循環しか維持できないと判断されます。・市全域に路線が入っていますが、企業が採算をとれる路線ではなく、市民の声を十二分に聞いてきた結果の現路線網かと思われます。採算率・収支率だけを見て判断するとは言いませんが、どこの段階・数値を目途として考えるのかを定めておく必要があります。・維持する路線、バス事業者・市民協働で取り組める地域、公共交通不便地域をあえて設けてタクシーでカバーする等、この計画でドラスティックに考える必要もあるのではないのでしょうか。・根強い地域性を把握するうえで、市民の声を聞きすぎる計画は避けるべきです。他市の事例として「乗る乗る詐欺」が非常に多いため慎重に計画を策定する必要があります。・地域公共交通網形成計画から地域公共交通計画への変更について、「総動員」という言葉が1つのキーワードとして挙がっています。交通事業者が頑張るとい

	<p>う点では当たり前ですが、手が届かない部分については地域の協力も必要であり、学校統廃合やスクールバスの活用も踏まえて計画を策定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の体系の位置づけをどう変えていくのか、おおむね5年計画の中で事業評価のPDCA・スパイラルアップといった考えが必要であり、具体的な数値目標をイメージしておく必要があります。 ・地域住民には、使わなければならないという意識付けを丁寧にする必要があり、モビリティマネジメントとしても合わせて考えていくべきです。 ・作ったが故に抜けられない体系にならないように、「地域の公平性を図る公共交通とは」の部分を事務局に期待しています。
事務局員	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見として、皆様のご協力のもと意義のある計画を目指します。 ・資料6のP6について、匝瑳タクシーが営業休止したことで利用者が半減しており、地域の方が不便を感じているということですが、その点について現時点で市として何か対策をしていますか。例えば、他3社のPR等は実施していますか。 ・また、資料6のP1について、利用券は発地・着地が旭市や香取市でも利用できますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・広報による周知や、利用券に使用可能なタクシー事業者の記載を行うなど、他3社の周知を行っています。 ・利用券については、旭市や香取市でも利用できますが、タクシー事業者は協定を結んでいる3社となります。 ・利用券の使い方としましては、匝瑳市でタクシーに乗って、多古町へ行き、多古町へ協定を結んでいるタクシーを呼んでいただいて、匝瑳市に戻るといった使い方になります。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、ご意見ご質問等ないため、議事(3)に移ります。

(3) 匝瑳市地域公共交通網形成計画策定業務委託について

資料7について事務局より説明後、質疑応答

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの事務局の説明を聞いて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策の影響を踏まえた調査の見直しとありますが、調査ができない可能性はありますか。また、外出自粛の異常事態時のデータを基に、マスタープランを作成することに問題はありませんか。その場合のパブリックコメントの実施や協議会の運営は予定通り開催するのか伺いたい。 ・また、交通事業者ヒアリングについて、スケジュール変更による場合、社会情勢の変動に対して柔軟に対応していただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が不足していましたが、調査の見直しとは、実施時期を見直すということです。適切な時期に調査を実施したうえで計画策定を進めていきます。 ・交通事業者ヒアリングについても、他の調査とあわせて事前に調整させていただきたいと考えています。

会 委 事 務 局	長	・その他、ご意見ご質問等ありますか。
	員	・コロナの影響により、実態調査が遅れる可能性があるとのことで、3月末の計画策定の時期について、遅れる可能性はありますか。
	局	・計画策定の時期については、国の補助金を活用しているため、年度内の策定を基本としています。
会 委 事 務 局	長	・コロナ渦ではあるが、今年度中に実態調査を踏まえた計画策定まで実施することとあります。
	員	・その他、ご意見ご質問等ありますか。
	員	・補助事業の関係で年度内とのことですが、現在の社会情勢は全国的な懸念事項であるため、調査ができなかった場合や策定期間が年度を越えてしまう場合について、国と予め調整しておくと思えます。
会 委 事 務 局	局	・貴重なご意見ありがとうございます。今後、国と相談させていただきます。
	長	・その他、ご意見ご質問等ないため、議事(4)に移ります。

(4) その他について

会 委 事 務 局	長	・委員の皆様から何かご発言ありますか。
	員	・コロナ渦の中、運転手はエッセンシャル・ワーカーとして、感染リスクを抱えながら頑張っている状況のため、行政としてもコロナ感染症対策を講じていただきたく思います。
	局	・十分にコロナ感染症対策に努めながら、取り組みます。
会 委 事 務 局	長	・その他、ご意見ご質問等ありますか。
	員	・コロナによる経営不振等の懸念事項が多くある中で、地方創生臨時交付金の活用として、公共交通に関しても実施計画を内閣府に提出することによって、事業者を支援することもできるため、公共交通維持の方法の1つとして考えていただきたい。
会 委 事 務 局	長	・その他、ご意見ご質問等ないため、事務局に進行を戻します。
	局	・これで第2回匝瑳市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。